

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

10. 呼吸器系の疾患 (インフルエンザ、鼻炎を含む)

文献

森壽生, 倉田文秋, 嶋崎譲, ほか. 春季アレルギー性鼻炎 (花粉症) に対する小青竜湯と桂麻各半湯 (桂枝湯合麻黄湯) の効果—両剤の効果の比較—. *Therapeutic Research* 1999; 20: 2941-7. [MOL](#), [MOL-Lib](#)

1. 目的

花粉症に対する小青竜湯と桂麻各半湯の効果の比較

2. 研究デザイン

準ランダム化比較試験 (quasi-RCT)

3. セッティング

1999 年 1 月 25 日から 1999 年 4 月 10 日
1 病院、3 内科医院

4. 参加者

花粉症患者 88 名

5. 介入

Arm 1: ツムラ小青竜湯 9.0g 3×2 週間 32 名
Arm 2: 桂麻各半湯 (ツムラ桂枝湯 4.0+ツムラ麻黄湯 4.0) 8.0g 3×2 週間 33 名

6. 主なアウトカム評価項目

症状別改善度、および全般改善度

7. 主な結果

くしゃみに対して Arm 1 は 68.8%、Arm 2 は 66.7%、
鼻汁に対して Arm 1 は 56.3%、Arm 2 は 63.6%、
鼻閉に対して Arm 1 は 40.6%、Arm 2 は 30.3%、
眼周囲搔痒感に対して Arm 1 は 46.9%、Arm 2 は 54.5% 有効であり、
いずれの症状の改善度についても有意差はなかった。
全般的改善度は中等度以上の改善を示したものは、Arm 1 は 62.5%、Arm 2 は 60.6% と
両薬剤の有効性に有意差はなかった。

8. 結論

春期花粉症に対し桂麻各半湯は小青竜湯と同等の有効性を示す。

9. 漢方的考察

なし

10. 論文中の安全性評価

小青竜湯投与群で口渇 2 名、胃部膨満感 1 名、胃部不快感を訴えて中止 1 名あり、桂麻各半湯投与群では口渇 1 名、吐気を訴えて中止 1 名があった。

11. Abstractor のコメント

1999 年時点では花粉症に対する漢方薬の効果に対する明確な EBM はない。この論文は比較検討が他の漢方製剤であり、今後 Placebo 等での比較検討が望まれる。

12. Abstractor and date

藤澤道夫 2007.6.15, 2008.4.1, 2010.6.1